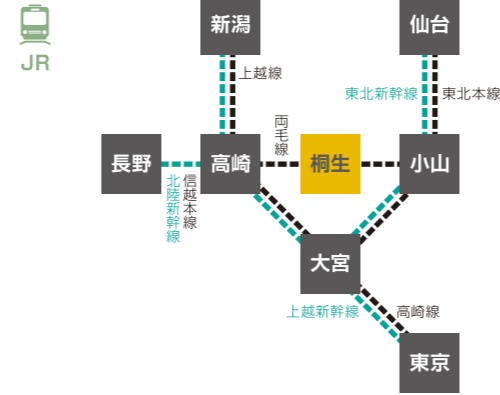


ACCESS



バス

- ・JR両毛線 桐生駅(北口)より おりひめバス約7分
- ・東武桐生線 新桐生駅より おりひめバス約20分

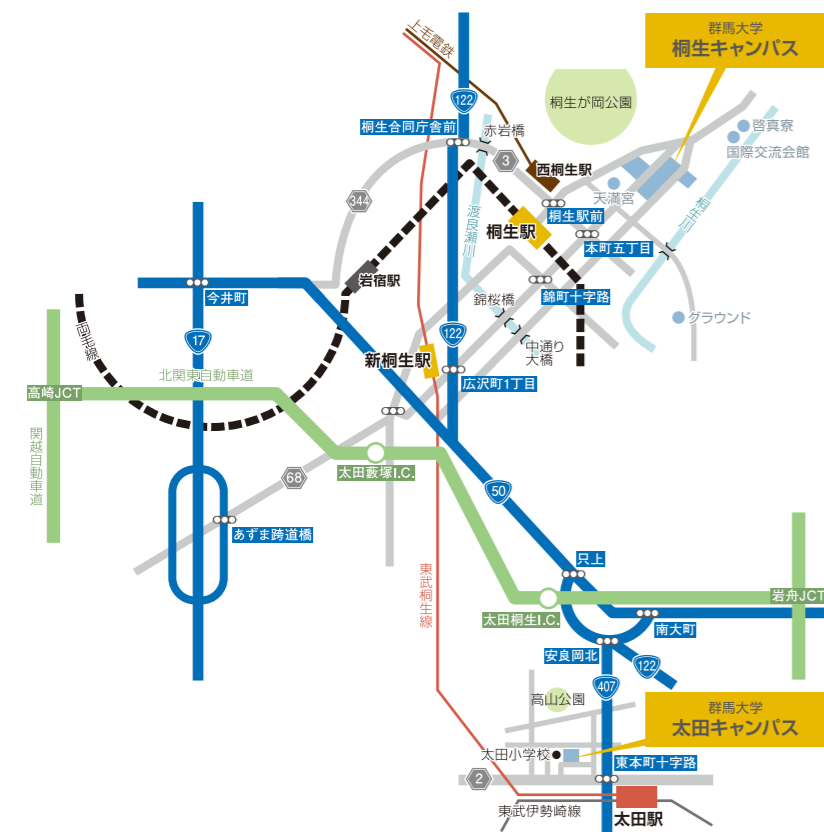
車

北関東自動車道

- ・太田桐生I.C.より約25分(桐生キャンパス)
- ・太田桐生I.C.より約10分(太田キャンパス)
- ・太田藪塚I.C.より約20分(桐生キャンパス)

徒歩

- ・太田駅より 徒歩約10分
- 市立太田小学校となり



国立大学法人
群馬大学
理工学部
大学院理工学府

SNSでも群馬大学理工学部の入試情報等を配信中!

理工学部HP

X 群馬大学理工学部広報
@stgunmau_kouhou
https://x.com/stgunmau_kouhou

Instagram 群馬大学
gunma_univ
https://www.instagram.com/gunma_univ/

〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 TEL.0277-30-1895 <https://www.st.gunma-u.ac.jp/>



国立大学法人
群馬大学

理工学部 / 大学院理工学府
GUIDEBOOK 2027



数字で見る 群馬大学理工学部

この手に、
未来をつくる
テクノロジーを。

学生数 (2026年4月1日時点)
学部生 **2,096**名
院生 **700**名

教員1人あたりの
学生数 **約3.1**名^{※2}

入学生の男女比
(2026年度)
理工学部全体 (528名)
女 **27.1%**^{※1} (143名)
男 **72.9%** (385名)

学生の学会受賞数
(2025年度)
67件

就職決定率 (2025年度
※9月卒業者を含む)
学部卒 **99.6%**
院卒 **99.7%**

企業との共同研究数
(2025年度)
142件

留学生数
(2026年4月時点)
174名

学部長メッセージ Message

地域に根差した経験により自身の基盤を築き
その手で未来をつくり出す「挑戦者」になってください

群馬大学理工学部長 石間 経章



群馬県桐生市はかつて織物産業で栄えました。本学部は、110年前に地場産業の発展を強く願った桐生市および群馬県の有志を中心に設立された「桐生高等染色学校」が起源です。時がたち、数度の改組を経て群馬大学理工学部となりましたが、設立当初より受け継ぐ産学連携や地域活性化を目指した教育・研究の理念に変わりはありません。地域の課題は日本、ひいては世界の課題と捉え、桐生から全国に本学部の技術と情報を発信し、世の中を未来に進めるための技術を提供できる大学でいたいと考えています。

グローバルの世界となった今、自身が育った地域や学んだ地域での経験を基に自分の価値を自分で作り上げることが、世界で活躍するために必要です。本学部ではPBL教育等を通じて、群馬および日本の産業構造を理解する力を育てることを目指しています。研究力は日本の根幹をなすものです。研究活動は常に挑戦を伴います。研究活動を通して、新たな発見や新たな技術を生み出してください。それらの成果は「学生の皆さんの未来」と「未来の世界/世界の未来」をつくるものです。

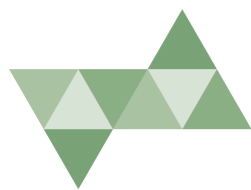
本学部を目指す高校生の皆さん、将来研究をするにあたって、「先輩が失敗したこと」や「誰もできなかったこと」にも挑戦してみましょう。未知への挑戦は、本学部の気質でもあります。皆さんの自由な研究活動を通して、充実した大学生活を送ることができるよう、私たちが全力で支えます。

What are you interested in?

3つの特徴：群大理工が選ばれる理由 … p2-3
知の最前線：世界を変える最先端ラボ … p4-5
8つのプログラム：専門性を磨く学び … p6-7
キャンパスライフ：クラブ・サークル … p8-9

卒業生インタビュー：活躍する先輩 … p10-11
進路：大学院進学とその後の就職先 … p12
入試情報：ポイント&スケジュール … p13

※1 参考：OECD加盟国の高等教育機関に入学した女性の割合（2019年）＝工学16%
※2 学部定員470人÷教員150人



群大理工の3つの特徴

分野にとらわれない
① 幅広い学び

教員がプログラム選択や
履修をサポートする
② メンター制

課題解決力を養う
③ 実践的な教育

群大理工が目指すもの ■幅広い学びと力強い実践力の養成 ■実社会で活躍できる人材の輩出

① 「類」制度について

「類」とは、理工学を学ぶための“基礎となる大きな枠組み”です。
学問分野の壁にとらわれずに幅広く教育を行い、
「持続可能な社会」や「高度情報社会」の基盤となるモノづくりを担う人材を育成します。

「類」制度の魅力

分野を限定しない
幅広い学びを
基礎とすることで
「応用」に強くなる

自分の興味の方向性が
より明確になり、
専門選択の
ミスマッチを抑制

4年間の幅広い学び

1年次	教養教育理学系基礎	
2年次	基礎科目	課題発見 セミナー
	【物質・環境類】2年次後期から、各プログラムに分かれます	
3年次	【電子・機械類】3年次前期から、各プログラムに分かれます	
	展開科目	専門的な科目
4年次	プロジェクト参加研究	課題解決 セミナー

② メンター制によるサポート

1年次から卒業まで、メンター教員(相談・世話役)による手厚いサポートを行っています(研究室配属後は指導教員もサポート)。学生は、プログラム選択や留学、進路など、大学生活を送る上でのあらゆる事柄に関してメンター教員に相談ができます。自分の適性や興味、将来等について教員とともにじっくりと考え、選択することで、主体的に学びを深めることができます。

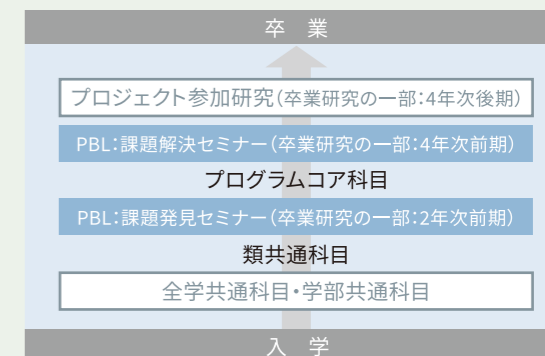


③ 実践的な教育

POINT
1

PBL教育 (Project/Problem Based Learning)

PBL (Project/Problem Based Learning) とは、学生自らが課題を見つけ、解決する過程で、さまざまな力を醸成するアクティブラーニング(能動的な学び)です。
2年次の「課題発見セミナー」(必修)では、安全講習・企業実習などを通じて、実社会の活動における課題を自主的に把握することを目指します。2025年度は、桐生市を中心とした群馬県内の企業など約80社と連携し、少人数グループで企業へ訪問して実習形式で学習を行いました。4年次の「課題解決セミナー」(必修)では、2年次の経験を活かして設定した課題や解決の方法を深く理解した上で、類やプログラムを横断するメンバーで構成されたグループで発表やディスカッションを行い、社会で求められる「分野を超えた実践的課題解決能力」を身につけます。



POINT
2

医理工グローバル フロンティアリーダー (GFL) 育成コース

理工学部においては、国内外の企業・研究機関の開発・研究職において獨創性を持ったリーダーとして研究を展開し活躍できる人材の育成を目的に、医学部と連携して「医理工GFLコース」を実施しています。理工学部からは18名程度を選抜し、外国人研究者等との交流の機会をつくるなど国際コミュニケーション能力を育成するとともに、早くから先端研究に接する機会を用意します。



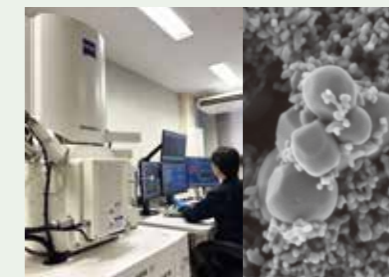
GFL育成コース
について
詳しくはコチラ



POINT
3

マイスター育成プログラム

コアファシリティ総合センター (CoMTeCC) には多くの先端分析機器が設置され、400名以上の4年生・大学院生がそれらを利用して最先端の研究・開発に励んでいます。マイスター育成プログラムは、2年次と3年次の2年間で、先端分析機器を使いこなす力を身につけるだけでなく、複雑な問題を解き明かす分析的思考力を養い、研究・開発・地域貢献に活躍できる人材を育成します。



マイスター育成
プログラム紹介



POINT
4

グローバル人材につながる実践 海外留学(交換留学/短期語学研修)

大学間協定および学部間協定を締結した機関と連携し、留学生の受け入れと、本学学生の派遣を行うことで、活発な大学間交流が行われています。独自の「海外派遣支援事業奨励金」制度で経済的な支援を行うほか、目的(異文化体験、語学力アップほか)や実習期間(1か月、半年、1年ほか)など希望に合った交換留学プログラム・短期研修プログラムを通じて、学生の海外実習をサポートします。中には、研修内容等を評価し、単位として認定されるものもあります。
2026年4月時点で、海外の36機関と大学間協定、35機関と学部間協定を締結しています。



物質・環境類



類紹介PV

化学・生物、食品、材料、環境、土木 新技術が豊かな社会を築く

物質・環境類は5プログラムから構成され、持続可能な社会を支えるための基礎となる化学・生物・物理を融合した科学技術について、幅広く学べます。物質・環境類では、このような領域を俯瞰的に理解し実践力を持った人材を輩出するため、化学・物理学・生物学を共通の基盤とし、基礎から応用にわたる化学・生物化学・食品科学や、超スマート社会を牽引する先端材料、CO₂削減・エネルギー利用に資する効率的な発電デバイスや生産プロセス、安全・安心な自然環境や社会基盤、地域の環境制御など、社会・産業の基盤となる科学技術教育を行います。

KEY WORD 持続可能な社会

地球環境と人間が共存し、将来の世代も現在と同じような暮らしを持続できる社会のこと。



すべての教員と研究の詳細はこちらから



理工学部HP類トップ



Pick up 研究室



材料科学プログラム 有機高分子化学研究室

覚知 亮平 准教授

プラスチックや繊維など、多くの製品は「高分子（ポリマー）」と呼ばれる機能性材料でできています。それらの素材をより高性能に、より環境に優しく生まれ変わらせるための「新しい作り方」を開発しています。コンピューターでの予測・設計を併用しながら、フラスコの中で有機材料を合成します。学生と教員、あるいは共同研究先と活発に議論しながら、困難なテーマにチャレンジ。世界各国のトップレベルの研究機関や大学へ研究留学に行く機会もあります。

電子・機械類



類紹介PV

電気・電子、機械、情報、制御 先進技術で未来を設計する

電子・機械類は3プログラムから構成され、Society5.0を支えるモビリティ、IoTやロボットなど、物理・数学を基礎とした科学技術について幅広く学べます。

電子・機械類では、俯瞰的な理解と実践力を持った人材を輩出するため、物理学・数学・化学を共通の基盤とし、電気電子工学の基礎となる電磁気学・電子回路・電気回路や、機械工学の基礎となる機械力学・材料力学・流体力学・熱力学を学びます。それらに加えて、制御工学・計測技術・画像計測・情報工学などの科学技術教育を行います。

KEY WORD Society5.0

「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」と定義されます。その未来像は、「持続可能性と強靭性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ (well-being) を実現できる社会」として描かれます。(参考:内閣府ホームページ)



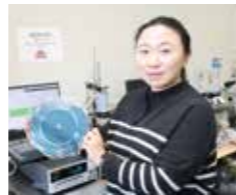
すべての教員と研究の詳細はこちらから



理工学部HP類トップ



Pick up 研究室



知能制御プログラム Nano・Bio Lab

張 慧 准教授

ナノ微細加工技術を使って、ナノスケールの微細構造 (1ナノ=10億分の1メートル) や電子デバイスの研究に取り組んでいます。大学にいなから半導体加工プロセスを実践的にを行い、独自のアイデアによる新しい電子デバイスを作製できます。計測技術、3Dデザイン、プログラミング、データサイエンスといった幅広いスキルも身につきます。国際・国内学会参加のほか、研究室ゼミ、合宿、バーベキュー等の研究室イベントもあり、楽しくメリハリのある研究生活が送れます。



応用化学プログラム

有機構造化学研究室

笠井 祐季さん
群馬県立前橋女子高等学校 出身

有機機能性分子骨格の合成と自己集合を組み合わせたナノクラスター集積体の構築について研究しています。条件一つ変えるだけで色や形の異なる結晶ができるのが面白いです。4年生から学会発表に参加します。外部研究機関と連携した研究も行っています。

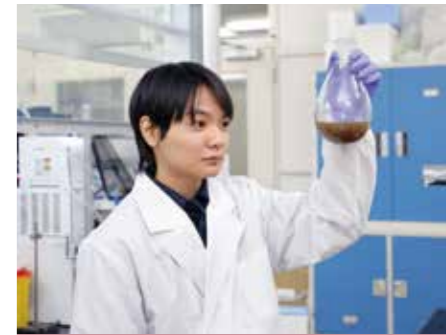


食品工学プログラム

橘研究室

福島 萌香さん
前橋育英高等学校 出身

食品に関連する高分子材料の環境負荷を低減するための研究開発を行っています。食品だけでなく化学、材料、物理、生物など多彩な分野を学べます。先端機器を用いる研究は将来のキャリアの幅を広げ、卒業生は食品関連企業のほか各種メーカー等に就職しています。



材料科学プログラム

有機高分子化学研究室

谷川 武さん
群馬県立太田東高等学校 出身

有機反応の最適化を通して新しい高分子合成を目指しています。巷の「化学実験」のイメージそのままに、試薬を混ぜて反応させたり分液漏斗を振ったりします。人数が少ないため、学年に関係なくまとまりがあり、困ったときにはいつでも仲間や先輩に相談できます。



化学システム工学プログラム

中川・藤木研究室

藤原 学毅さん
群馬県立太田東高等学校 出身

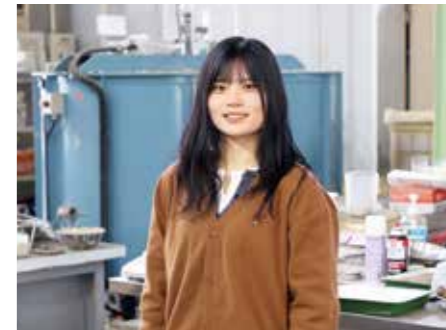
中川研究室は主に燃料電池に関する研究、藤木研究室はガスの吸着に関する研究を行っています。私は藤木研究室に所属しています。実験で得たグラフの形から、材料の中で何が起きているか推理するのが面白いです。学生同士仲が良く、和やかな雰囲気の研究室です。



在学生が語る！

私の研究室

MY LABORATORY

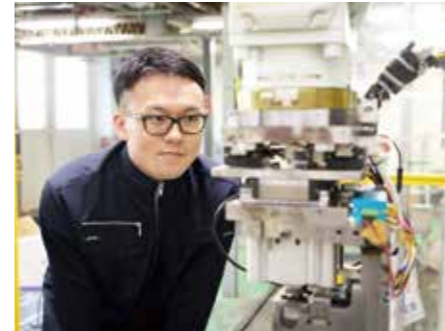


土木環境プログラム

地盤工学研究室

神沢 明日香さん
群馬県立前橋東高等学校 出身

災害に対する斜面の安全性評価のための解析・実験を行っています。素晴らしい先生と一緒に、国内外のさまざまな場所へ学会や調査に出かけます。研究室の雰囲気は和気あいあいとして、バーベキューや合宿、お花見、忘年会などが催され、学生生活も充実します。



機械プログラム

先端加工技術研究室

横江 修平さん
大宮開成高等学校 出身

自動車のドアパネルやボンネットに用いられる加工方法「ローラーヘミング加工」について研究しています。産業用ロボットが使えるのが楽しいです。ゼミのときは、みんなで一緒に考えたりアイデアを言い合ったり。他の研究室や企業との共同研究を行う人もいます。



知能制御プログラム

システム制御研究室

井田 大翔さん
群馬県立高崎北高等学校 出身

自動運転や交通システムに関する研究を行っています。私はその中でも、緊急車両の接近時に、周囲の車両が互いに協調して進路を譲り、円滑に先行させるための手法を研究しています。研究室には多くの留学生もいて、日常的な交流の中で良い刺激を受けています。



電子情報通信プログラム

張研究室

金子 由奈さん
群馬県立桐生高等学校 出身

私はドローンの自律飛行について研究しています。研究室ではハードウェアとソフトウェアの両方を扱いますが、私はソフトウェアの面から取り組み、自律飛行のためのプログラムを考えています。自作のプログラムで機械が動く瞬間に学びの楽しさが詰まっています。



幅広い分野にまたがる

プログラムの魅力

物質・環境類

詳細は
コチラ▶



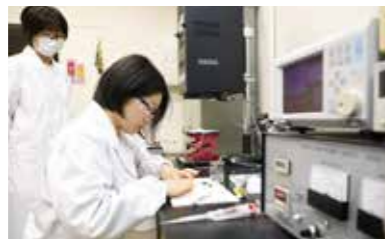
物質および生命科学について探究する 応用化学プログラム

- 化学分野で従来から行われてきた分子レベルの物質科学の研究に加え、生命現象の解明や新薬の開発などの生物科学の研究を融合
- 化学と生物に関する知識・理論を基盤として、新反応開発に基づく有用物質の創製、物質の構成原理と物性の解明、生命現象に関わる生理活性物質の機能解明などに携わり、国際社会で活躍する未来の技術者・研究者を育成

POINT

キーワード

- #分子科学
- #生命科学
- #無機・分析化学
- #有機化学
- #物理化学
- #生物化学
- #物質の合成
- #光機能物質
- #生体関連物質
- #遺伝子



物質・環境類

詳細は
コチラ▶



食品機能を理解し、生産工学を学ぶ 食品工学プログラム

- 理工学系で食品の科学と工学を学べる、全国でも数少ないプログラム
- 食品を科学的に理解し、これを食品開発に反映させ、さらに食品生産および海外も含めた流通に寄与できる人材を育成
- 群馬大学 大学院食健康科学研究科との連携

POINT

キーワード

- #食品科学
- #食品工学
- #食の安全と安心
- #食健康科学
- #食品機能
- #食品廃棄物
- #食感評価と改善
- #食品加工
- #食品保存
- #プロバイオティクス
- #食品衛生
- #食品容器包装
- #食べ物と健康
- #医薬品
- #微生物
- #生物統計
- #細胞生物学
- #環境浄化
- #環境保全
- #生分解性材料



食健康科学研究科の
詳細はコチラ▶



物質・環境類

詳細は
コチラ▶



「素材」から製品開発にアプローチする 材料科学プログラム

- 化学に基づく物質科学、物理学に基づく金属工学、力学関連学やマテリアルズインフォマティクス (MI) を学び、各種の工業材料・製品のデザイン・開発ができる技術者・研究者を育成
- 医療機器、環境浄化装置、電子通信機器、エネルギー変換デバイス、次世代輸送機器、社会インフラを支える先端材料を開発できる人材の育成

POINT

キーワード

- #材料開発
- #金属
- #有機
- #無機
- #マルチマテリアル
- #セラミックス
- #カーボン材料
- #キャパシタ
- #マテリアルズインフォマティクス (MI)
- #電池
- #ナノ粒子
- #環境
- #繊維
- #膜
- #高分子材料
- #ケイ素材料
- #合成化学



物質・環境類

詳細は
コチラ▶



「物質」と「エネルギー」について考える 化学システム工学プログラム

- カーボンニュートラル社会の実現に向けて、限られた資源と環境に配慮したモノづくりに貢献できる人材を育成
- 現実の社会に役立つ新技術に関わる物質・材料の性質や化学反応を扱う装置・デバイス、生産プロセスの基礎を体系的に学ぶ
- 化学工学的アプローチに基づく実践的な開発研究や実用化を目指したプロジェクト型研究を通じて、物質・エネルギーを横断的に捉える幅広い知識と深い専門性を備えた人材を育成

POINT

キーワード

- #グリーンテクノロジー
- #化学プロセス
- #反応装置
- #燃料電池
- #全固体電池
- #蓄電池
- #新材料開発
- #省エネルギー
- #再生可能エネルギー利用
- #CO₂分離回収有効利用
- #省資源
- #環境保護
- #セラミックス
- #ナノ粒子
- #バイオマス
- #廃棄物利用
- #カーボン材料
- #固体触媒



物質・環境類

詳細は
コチラ▶



防災や社会基盤整備の知識と技術を学ぶ 土木環境プログラム

- 地域の防災安全性の向上および自然環境との調和をはかりながら、種々の社会基盤施設を計画・設計・施工・維持管理する人材を育成
- 環境に配慮したシステムの構築を学び、卒業後は地域の安心・安全なまちづくりに貢献する公務員(土木職)、および民間企業のエンジニアとして活躍できる

POINT

キーワード

- #防災・減災
- #避難
- #水害
- #土砂災害
- #地震
- #液状化
- #コンクリート
- #構造物の設計
- #災害シミュレーション
- #維持管理
- #水質浄化
- #水環境保全
- #環境技術
- #循環型社会
- #微生物の応用



電子・機械類

詳細は
コチラ▶



機械とDX・GXを融合し、人類の根源的な課題に切り込む 機械プログラム

- モノづくりの基盤となる機械工学全般(機械・材料・熱・流体力学や加工など)と、それらとAI・DX・GX技術を融合することで新しい情報化機械・知能化機械を創造し、その社会実装までも含む広範な学問領域について学ぶ
- カーボンニュートラル実現のための次世代エネルギーシステム、子どもや高齢者にやさしいモビリティと交通システム、強靱・超軽量なスマートマテリアルと極限微細加工技術、安全・安心な暮らしを実現する社会安全技術の研究開発など、人類の根源的な課題の解決に向けてあらゆる角度から研究を展開

POINT

キーワード

- #DX
- #GX
- #AI
- #IoT
- #持続可能性
- #社会安全
- #熱・流体
- #熱機関
- #航空宇宙
- #画像解析
- #コンピュータシミュレーション
- #機能材料
- #先端加工
- #超精密加工
- #複合材料
- #リサイクル
- #プライバシー保護
- #精密計測
- #知能計測



電子・機械類

詳細は
コチラ▶



各種制御技術による未来の創造を目指す 知能制御プログラム

- AI・データサイエンスと制御工学を組み合わせ、知的かつ自律的に動作するシステムの設計・開発を学ぶ
- 機械・電子デバイスからソフトウェア・アルゴリズムまで、ハードとソフトを横断的に学修
- 自動運転・ロボティクス・スマートシティ・産業オートメーション・医用工学など、多様な応用分野で活躍できる力を育成

POINT

キーワード

- #AI
- #IoT
- #制御工学
- #自動運転
- #情報通信
- #アプリ開発
- #安全工学
- #スマートシティ
- #ナノテクノロジー
- #産業オートメーション
- #ヒューマンインタフェース
- #医用工学
- #ロボティクス
- #電子デバイス
- #人間工学
- #プログラミング



電子・機械類

詳細は
コチラ▶



情報化社会を牽引する知識・技術を修得 電子情報通信プログラム

- 日進月歩で進展が続く電子情報通信技術をベースとするモノづくりや、新規の治療手段として近年注目される重粒子線などの量子ビーム技術、AI技術ほか最先端技術の利活用を学ぶ
- 最先端の計測技術や通信技術を武器として、電子機器や医療機器、電子材料、IoTシステム開発などの分野で活躍できる人材を育成

POINT

キーワード

- #半導体材料
- #光デバイス
- #エネルギーデバイス
- #重粒子線治療技術
- #超音波生体計測
- #医療工連携
- #集積回路(LSI)設計
- #高速信号伝送
- #5G/無線通信システム
- #電波計測・電波伝播解析
- #人工知能(AI)・機械学習
- #自律ロボット・ドローン制御
- #VR/AR応用
- #IoT/組込みシステム設計
- #FPGA実装・評価



DAILY ROUTINE 理工学部生の日

[物質・環境類] 鈴木さん 研究室配属前(2年次時点)



鈴木 彩瑛さん
物質・環境類
食品工学プログラム3年
大妻嵐山高等学校出身

起床 7:00
朝食、家事 8:00
登校 9:00



通学時間は自転車5分。一日の予定などを頭の中で考えています。

授業 10:00

将来食品関連の仕事に就いた際に役立つ授業を多く取っています。「群馬県の食品工学概論」という授業が特に面白い! 県内で食品関係の仕事に携わる方や食品会社の社長さんのお話を聞くことができます。

昼食 12:00

毎日学食を利用しています。



授業 13:00

課題 15:00

アルバイトのある日 ↓

自由時間 18:00

夕食 19:00

入浴、家事 21:00

22:00

16:00 帰宅
17:00 軽食
18:00 アルバイト

飲食店のアルバイトは、朝から夜までの営業時間内に自分の都合でシフトが入れられるのが良いです。

課題やレポートはなるべく、出されたその日のうちに着手。空きコマに図書館などの集中できる環境で取り組むほか、難しい課題については土日じっくりと時間をかけて理解するようにしています。



就寝 24:00

22:00 帰宅
23:00 夕食、入浴
24:00 自由時間、課題
25:00 就寝

[電子・機械類] 西沢さん 研究室配属後(4年次時点)



西沢 雅大さん
電子・機械類
電子情報通信プログラム 2025年度卒業
国立長野工業高等専門学校 出身

起床 7:00
朝食、家事 8:00
ゼミの準備・予習、登校 9:00

アルバイトのある日 ↓

徒歩通学。写真が趣味なので、歩きながら、「この景色いいな」「もうすぐ花が咲きそう」など、季節の移ろいを感じつつ被写体を探しています。

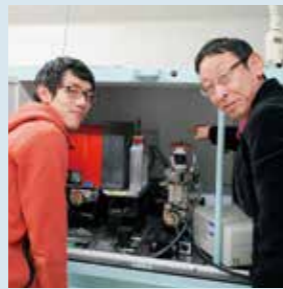
研究室学部生ゼミ 10:00
10:00 書類作成・その他のタスク
11:00 研究(プログラム作成)

コードを記述し、長時間かけて演算した結果が不調だと落胆しますが、望んだ結果が出たときは非常に嬉しいです。医療検査における放射線の特性研究を行っていて、社会貢献の一端を担っていることがモチベーションの一つです。

昼食 12:00
12:00 昼食

学食定期を契約しており、昼食は売店を利用するか、学食で食べることが多いです。学食はデザートもおいしい!

研究室全体ゼミ 13:00
13:00 授業(先行履修)
実験室で実験 15:00
15:00 趣味(散歩や写真撮影)



夕食準備 17:00
16:00 研究(プログラムのエラー修正)
17:00 研究(演算開始)

パソコンでの演算は結果が出るまで数時間から数日かかるので、結果待ちのあいだにアルバイトに行きます。シフトが柔軟に調整できるアルバイトを選んでます。

夕食 18:00
18:00 アルバイト
夕食片付け、家事 19:00
20:00 帰宅
自宅自主研究(プログラムの作成・エラー修正) 20:00
21:00 夕食
22:00 夕食片付け
入浴、家事 23:00
23:00 入浴、家事
就寝 24:00
24:00 就寝

CLUB & CIRCLE クラブ・サークル

他にもたくさんあります ▶



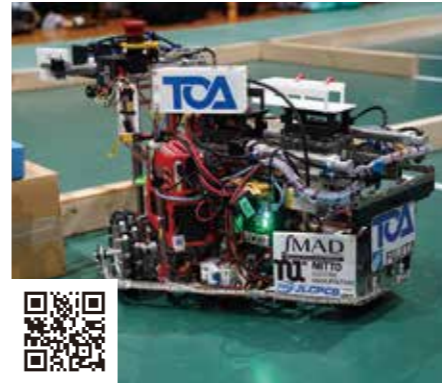
群馬大学 学生フォーミュラチーム”GULT”



群馬大学 理工学部 モダンジャズ研究会



群馬大学 自動車部



群馬大学 情報メカトロニクス研究部



学生団体Playlist



桐生写真部

学生広報大使

学生広報大使は、学生たち有志による広報チームです。オープンキャンパスの企画・運営、進学相談会の開催、広報誌の発行、動画やSNSでの発信など、グンダイの魅力や情報をあらゆる手段でPRしています。



学生広報大使について詳しくはこちら▶



施設紹介

—“愛称”のある施設—

桐生キャンパス・太田キャンパスの詳細なキャンパスMAPはこちら▶



桐生キャンパス紹介動画はこちら▶



群馬大学初のネーミングライツ事業が桐生キャンパスでスタートしました!

桐生キャンパスで所有する4つの建物へ、ネーミングライツパートナー(施設に自社の企業名やブランド名を愛称として付ける命名権を付与された民間事業者など)の皆さまにより、愛称が付与されました。これにより、施設の魅力向上、事業者との連携機会の拡大、本学の教育研究環境の向上が期待されます。



KOMOTO 知恵創造の森(理工学図書館)



ミツバ・イノベーションホール(大講義室)



SUBARU Innovation Commons(6号館)



OGURA CLUTCH CONVENTION HALL(工学部会館)

未来をつくる テクノロジーと共に歩む



群馬県 県土整備部 伊勢崎土木事務所
企画調査係 副主幹

大垣 水晶さん 〈2013年3月修了〉
工学部 建設工学科
大学院工学研究科社会環境デザイン工学専攻

専門職としての基礎をつかった 学部と院での充実した学び

■ 群大理工を選んだ理由

もともと建築分野に興味があり、大学受験にあたりいろいろな大学を調べているうちに、建築の中でも土木の分野も面白そうだと思い始めました。群馬大学工学部建設工学科(当時)は、土木主体でありつつも建築設計の授業もあり、将来の進路を考えたときにも両方経験できるのはメリットがあると考えました。キャンパスの都会過ぎない立地も好ましく思えました。

■ 先生や仲間に恵まれた大学生活

大学は、先生方と学生の距離が適度に近く、授業や進路のことなど気軽に相談しやすい環境でした。また、学科が少人数だったためみんなと仲が良く、実験等も楽しく行えました。自分たちで設計した配合でコンクリートを作製して強度を測る実験など、今でも印象に残っている実験や実習がたくさんあります。研究室でのフィールドワークも貴重な経験でした。

■ 県職員として土木の仕事に携わる

修士課程修了後、群馬県の職員となり、現在は伊勢崎土木事務所に所属しています。県庁からの通知や調査依頼を市町村や土木事務所内へ展開し、取りまとめを行うほか、道路や橋の維持管理、大雨や雪といった気象災害の対応を行っています。たとえ小さな仕事であっても成果が目に見えるため、達成感を感じられ、日々意欲をもって取り組んでいます。

■ 仕事も私生活も楽しんでいきたい

入庁後に結婚・出産し、現在は3人の子どもの母親でもあります。群馬県職員として、産休・育休制度や職場のサポートが整っている環境で前向きに仕事と向き合えることをありがたく思っています。プライベートではアウトドアアクティビティが趣味なのですが、一番下の子どもが2歳になったので、そろそろテント泊での家族キャンプに挑戦したいと思っています。

群大理工でキャンパスライフを送り、基礎となる力をつけたのち、社会に出てさらにスキルを磨き、活躍している先輩たち。どんな学生時代を過ごしたのか、いま何にチャレンジしているのかなどについて、インタビューしました。

大学で磨いたスキルを生かして シェア世界一を目指す

■ 群大理工を選んだ理由

きっかけは高校の先生から勧められたことでしたが、その後、群馬大学理工学部について調べる中で、内燃機関に関する研究を行っている研究室があることを知りました。当時、私は将来的に自動車業界で働きたいと考えていたこともあり、自動車製造に関する知識とスキルが得られる学部として、本格的に群馬大学理工学部を目指すようになりました。

■ 学業も学生生活も充実した6年間

学部～大学院の6年間を通して、学業や研究に向き合う時間、部活動で汗を流す時間、友人と楽しむ時間とそれぞれにメリハリをつけて過ごし、充実した毎日が送れました。当時の授業で印象に残っているのは、手描きの製図の授業です。線の意味や役割を考えつつ製図した経験から身についた知識が、CADで図面作成する現在も、仕事の根底を支えています。

■ 伝える技術も磨いた研究室時代

研究室時代には、専門スキルはもちろん、今につながる汎用的で重要な技術を身につけました。私が所属していた研究室では教育を重んじる風土があり、研究を進める中で生じた自分の考えや主張を第三者に適切に伝えるための資料作成のコツや、文章構成の方法も重視していました。当時鍛えたそれらのスキルは現在、仕事の中で非常に役立っています。

■ 新たな装置を開発して世界一に

現在は、次世代半導体製造装置を構成するユニットの設計開発を担当。自分の関わる装置がこれからの半導体デバイスの進化を支えるという実感があり、日々やりがいを感じています。今チャレンジしていることは、これまでの弊社装置にはなかった性能を持つ、全く新しい装置の開発です。それを成功させ、競合からシェアを奪取し、世界一になることが将来の夢です。



東京エレクトロン宮城株式会社
プラズマソリューション技術開発部 メカエンジニア

関口 天さん 〈2023年3月修了〉
理工学部 機械知能システム理工学科
大学院理工学府 知能機械創製理工学教育プログラム

大学院理工学府

興味を極め、新たな知見を引き寄せ、
学究力を身につける

大学院理工学府では、学部で得た知識を活かし、より深めるとともに、俯瞰的なものの見方を養い、実践力を強化し、新しい技術を生み出すための総合的な力を養います。なお、学部生のおよそ6割が大学院へ進学します。



目指すのは、高いスキルを持ち、 新たな目標に果敢に挑戦できる研究者

高校2年の時点で、興味のある分野の研究を深めるために大学院に進学しようと考えていました。大学院は学部よりも授業数が少なく、研究に充てられる時間が増え、自らの裁量で進められる範囲も広がるため、大学院でしか得られない経験がたくさんあります。所属している研究室は、信頼できる指導教員とさまざまな才能を持つ仲間と囲まれた素晴らしい環境。その中で研究に邁進できる幸せを感じています。

知能機械創製理工学領域 博士後期課程
エネルギー環境研究室 市川 彩 さん
(群馬県立富岡高等学校 出身)

博士前期課程 (修士課程)

俯瞰的視野に基づく総合的実践力の育成

多様化・複層化が進化する産業活動における諸課題に対して、俯瞰的なものの見方ができるとともに、総合的な実践力・独創力を発揮して社会からのニーズに応えることのできる高度理工学専門人材を育成することを目的としています。

- 【理工学専攻】
- 応用化学プログラム
 - 材料科学プログラム
 - 化学システム工学プログラム
 - 土木環境プログラム
 - 機械プログラム
 - 知能制御プログラム
 - 電子情報通信プログラム

博士後期課程 (博士課程)

課題解決に向けた実践力・独創力の育成

前期課程で培った素養と能力をベースとして、より高度な知見と実力を養います。具体的には、より実践的な環境における幅広い知識の修得や、部分でなく全体を見渡すことのできる俯瞰的かつ広い視野、課題解決に向けた実践力を涵養し、社会の革新・成長を牽引するリーダーとして各分野で活躍できる高度な研究開発人材を養成します。

- 【理工学専攻】
- 物質・生命理工学領域
 - 知能機械創製理工学領域
 - 環境創生理理工学領域
 - 電子情報・数理領域

就職率ほぼ100%! 充実のキャリア支援



- 職業観・勤労観の育成
- 社会人へ向けた自覚の形成
- 専門教育の意味付け

- 社会的に必要な能力、実践的な能力の育成
- キャリアデザイン支援

詳細はこちら▶



修士課程 主な就職先 (2025年度)

応用化学プログラム	オリパス、正田醤油、信越化学工業、SUBARU、太陽誘電、テルモ、TOPPAN、トヨタ自動車、日清紡ホールディングス、日本ヒューレット・パッカド、日本ミシュランタイヤ、ブリヂストン、村田製作所、農林水産省
材料科学プログラム	出光興産、関西ペイント、キオクシア、ゼブラ、太陽誘電、ダイキン工業、デンソー、東京電力ホールディングス、TOPPAN、富士電機、三菱電機、村田製作所、ルネサス エレクトロニクス、レゾナック
化学システム工学プログラム	アキレス、アサヒ飲料、荏原製作所、キヤノン電子、SUBARU、太平洋セメント、日油、本田技研工業、ヤマハロボティクスホールディングス、リコーインダストリー、レゾナック
土木環境プログラム	鹿島建設、砂防・地すべり技術センター、新菱冷熱工業、大成建設、東急建設、東京電力、東日本高速道路(NEXCO東日本)、東日本旅客鉄道、ボラス、群馬県、横浜市
機械プログラム	IHIエアロスペース・エンジニアリング、川崎重工業、スズキ、住友電気工業、セイコーエプソン、ダイキン工業、テルモ、デンソー、豊田自動織機、日産自動車、日本アイ・ピー・エム、東日本旅客鉄道、日野自動車、本田技研工業
知能制御プログラム	キヤノン、スズキ、SUBARU、住友ゴム工業、ダイハツ工業、テルモ、ニコン、パンダイ、日立製作所、富士電機、プラザー工業、本田技研工業、三菱電機、ルネサス エレクトロニクス、レゾナック
電子情報通信プログラム	沖電気工業、オリパス、キオクシアエンジニアリング、クボタ、SUBARU、太陽誘電、東京電力ホールディングス、東芝、トヨタ自動車、日本信号、パナソニック、日立Astemo、マックス、三菱電機

※企業は50音順で掲載しています。 ※旧プログラム体制の進路データ・就職先を新プログラムに算入しています。

理工学部入試情報

すべてインターネット出願です



詳しくは
コチラ

理工学部入試のPOINT

推薦の募集人員は、
選抜全体の約3割
(国立大学平均13.7%*)

最大で3回受験ができる
推薦、一般選抜(前期日程)、一般選抜(後期日程)

一般選抜(前期日程)は
「東京試験場」でも受験可能

●2026年度入試出願・実施状況

	学校推薦型選抜				一般選抜(前期日程)				一般選抜(後期日程)					
	募集人員	志願者数	志願倍率	合格者数	募集人員	志願者数	志願倍率	共通テスト	個別学力検査等	募集人員	志願者数	志願倍率	共通テスト	個別学力検査等
物質・環境類	90	148	1.6	103	162	386	2.4	国語 地歴・公民1科目 数学2科目 理科2科目 英語 情報 【6教科8科目】	数学(「I, II, A, B, C」もしくは「I, II, III, A, B, C」のいずれかを選択) 理科(「物基・物」、 「化基・化」、 「生基・生」から1つ選択) 英語	28	243	8.7	国語 地歴・公民1科目 数学2科目 理科2科目 英語 情報 【6教科8科目】	面接
電子・機械類	55	77	1.4	57						105	176	1.7		

●2027年度入試スケジュール

学校推薦型選抜				一般選抜(前期日程)				一般選抜(後期日程)			
出願期間	試験日	合格者発表	入学手續締切日	出願期間	試験日	合格者発表	入学手續締切日	出願期間	試験日	合格者発表	入学手續締切日
2026年 11月1日(日) ～ 11月6日(金)	2026年 11月17日(火)	2026年 12月7日(月)	2026年 12月15日(火)	2027年 1月25日(月) ～ 2月3日(水)	2027年 2月25日(木)	2027年 3月9日(火)	2027年 3月15日(月)	2027年 1月25日(月) ～ 2月3日(水)	2027年 3月12日(金)	2027年 3月20日(土)	2027年 3月27日(土)

- ・この表は分かりやすくまとめたものです。この他、総合型選抜(専門学科・総合学科)、総合型選抜(ITFL入試)、総合型選抜(外国人生徒等入試)、帰国生選抜および私費外国人留学生選抜があります。
- ・詳しくは「2027年度 入学者選抜に関する要項」ならびに各入試別の「学生募集要項」で必ずご確認ください。
- ※文部科学省「令和8年度入学者選抜について」による



過去の
入試問題



受験生からの
よくある質問

群大理工 OPEN CAMPUS

現役群大生が「リアルな大学生活」を伝えるオープンキャンパス

2026.9.5 [土] 9.6 [日]

※各日、先着順にて要予約

開催時間・プログラム等の詳細は
決定次第、特設ページにて公開します!



<https://www.st.gunma-u.ac.jp/opencampus>

■ オープンキャンパスに関するお問い合わせ
群馬大学 桐生地区事務部事務課 庶務係広報担当
TEL.0277-30-1895 rikou-pr@ml.gunma-u.ac.jp



ACCESS MAP

群馬大学 桐生キャンパス

- ・JR両毛線 桐生駅(北口)よりおりひめバス約7分
- ・東武桐生線 新桐生駅よりおりひめバス約20分
- 北関東自動車道
・太田桐生I.C.より約25分
・太田塚家I.C.より約20分